

# 12月議会特集

各会派の代表質問・一般質問で岩永新市長が明らかにしたこと…

旧甲賀病院跡地に「医療と福祉の総合ゾーン」を。実現求め7千筆の署名が届けられた

## 甲賀病院跡地「櫻の杜」構想

老朽化した水口と信楽の給食センターを市役所近くに建設予定、すでに用地購入済み

## 西部学校給食センター建設

甲賀市は現在小学3年生まで完全無料化。前市長は9月議会で「中学卒業まで拡充」意向

## 中学校卒業まで医療費無料化

80歳以上と障がい者を対象にしたコミバスの無料乗車券、75歳まで引き下げる

## コミバス75歳まで無料化

これが「新しい風」!?

計画は白紙に

現計画は中止

拡大は小6まで

拡大は今後の検討



# 安井直明議員団長が代表質問

## 岩永新市長の政治姿勢、選挙公約、所信表明：ズバリ聞く

岩永裕貴新市長の所信表明（11月10日の臨時議会）に対する各会派の代表質問が11月24日開かれました。所信表明では選挙戦の中で示した公約の具体化は示さず抽象的な言葉に終始したため、この日の代表質問では各会派が揃って具体的見解を

求めました。日本共産党は安井直明議員団長が代表質問（写真）。岩永市長は旧甲賀病院の跡地利用や西部学校給食センター建設については前市政の基本的方向をストップ、福祉の拡充についても後退する見解を示しました。

維新に対する見解：過去に所属していた政党を論じる立場にない。  
安倍内閣：外交防衛、経済等、多事多難な中で尽力。評価している。  
「戦争法」・原発・TPP等：国の責任において判断されるもの。

安井議員は、今回当選した岩永市長が過去「維新」の比例代表で二年間衆議院議員を務めた経験から維新に対する見解、政治信条や政治姿勢について質問しましたが「無所属で立候補した身であり、過去に所属していた政党について論じる立場にない」とともに応えず、安倍内閣に対しては「外交・防衛・経済等、多事多難な中で尽力されていることを評価している」との認識を示しました。また国政の焦点となっている「新安保法制」「戦争法」やTPP、原発の問題については「国の責任において判断されるもの」と自らの立場（政治姿勢）を明らかにしませんでした。

また前市長が選挙前の9月議会ですべて示していた櫻の杜構想は「白紙」に、水口と信楽の西部学校給食センターは「現計画地には建てない」、中学校卒業までの医療費の無料化は「財源に限りがあり小6まで。低所得者を優先したい」、コミバスの無料乗車券、現行80歳以上を75歳以上に引き下げについては、「拡大は今後の検討」などと答弁。前市長の「約束」よりは、後退させる姿勢を示しました。

10月の市長選で岩永候補が市選管に届けた「収支報告」では、収入総額246万円のうち104万円が政治団体「社会活力研究会」からの寄付、85万円が「岩永ひろき後援会」からの寄付、残る57万円は自己資金等。政治団体「社会活力研究会」は、岩永氏が維新の比例候補として国会議員に当選した際、資金管理団体として届け出たもの。平成25年・26年の収支報告によると、いずれもそのほとんどが維新国会議員団本部及び維新の党からの寄付。（27年度は提出が遅かったために未公開）山岡議員の一般質問に、同政治団体は、活動も資金も継続していることを認めました。「維新を離党した」としていますが、資金は維新を引き継いでいます。

## 核兵器禁止条約の締結を求める意見書：可決

日本共産党小西議員が提案した「核兵器禁止条約の締結を求める意見書」が賛成多数で可決されました。各会派・議員の態度は2面参照。

## 市長選挙費用は「維新」から

10月の市長選で岩永候補が市選管に届けた「収支報告」では、収入総額246万円のうち104万円が政治団体「社会活力研究会」からの寄付、85万円が「岩永ひろき後援会」からの寄付、残る57万円は自己資金等。政治団体「社会活力研究会」は、岩永氏が維新の比例候補として国会議員に当選した際、資金管理団体として届け出たもの。平成25年・26年の収支報告によると、いずれもそのほとんどが維新国会議員団本部及び維新の党からの寄付。（27年度は提出が遅かったために未公開）山岡議員の一般質問に、同政治団体は、活動も資金も継続していることを認めました。「維新を離党した」としていますが、資金は維新を引き継いでいます。

## 日本共産党

## 甲賀市議団ニュース

2017年1月1日 第178号



安井 直明  
土山町前野 541  
TEL 67-0147  
Fax 67-1660



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
TEL 86-2985  
Fax 86-0415



小西 喜代次  
信楽町勅旨  
TEL 83-0765  
Fax 83-0765

## 山岡光広・小西喜代次議員が一般質問

### 山岡光広議員



◆政治団体「社会活力研究会」とは◆75歳以上高齢者の健康診査と保険料◆就学援助制度入学準備金の支給時期の改善◆国保の広域化と独自施策◆旧甲賀病院跡地利用◆子どもの医療費を中学校卒業まで拡充することについて

**問** 75歳以上高齢者の健診について広域連合に直接改善を申し入れたら、「一定の条件を満たせば健診は可能」との回答であった。その内容を周知するとともに、最初から健診通知が届くよう改善を。

**市長** 健診受診対象者の基準を29年度から見直す。(今後は)一年間に生活習慣病での受診が3回以上ありかつ血液検査を受けられた方のみを対象外とし、それ以外は受診券を送付する。

**問** 子どもの医療費無料化。前市長は新年度から中学卒業まで拡充すると約束していたが、代表質問では「低所得者を優先する」と。所得制限を設けるといふことか。

**市長** 現行小三を六年生まで拡大する。所得制限は設けず現行通り完全無料化に。

**問** 就学援助制度入学準備金の支給を7月支給ではなく、文科省の通知を受けて2月・三月に支給するよう改善すべき。

**教育部長** できるだけ早く支給するにはどういう方法があるか。引き続き検討。

**問** 「櫻の杜構想は白紙」どこに問題か。選挙中「百億円のハコモノ」と批判されたがその根拠は。今後の利用計画は。

**市長** 私が突然白紙にしたものではない。(前市長の)「市民の声も取り入れて整備の方向を示す」というのは白紙の戻されたと認識した。専門家が試算した。

**問** 甲賀市幼保・小中学校再編計画で「必要な計画を加える」としている。市長権限は大か。住民合意が前提、教育委員会の独立性を確認できるか。

**市長** 権限拡大ではない。住民合意前提で、教育委員会と市長部局との連携を密にし、切れ目のない施策を展開していく。

### 小西喜代次議員



◆幼保小中学校再編計画◆仮称西部学校給食センター◆信楽高原鐵道の社長人事に関する市の対応◆公共交通の充実◆介護・福祉の充実について

**問** 信楽高原鐵道社長に従来副市長を推薦してきたのを変更した経緯と理由は。回避する必要性から推薦した。

**市長** 社長不在の事態を1日でも早期に回避する必要性から推薦した。

**問** コミュニティバスの三雲駅から甲賀病院行の増便、貴生川駅発、土山行の最終便の増便の要望にどう応えるのか。

**市長** 利便性の高い交通形態の検討とともに、担当部署に検討の指示を行った。

**問** 市長の公約に特別養護老人ホームがないが現状認識はどうか。選挙チラシの「介護予算を3割削減」は何の削減か。

**市長** 特養は介護保険事業計画で必要な整備数を定める。介護予算3割削減は社会福祉協議会の補助金削減のこと。

**問** 甲賀市幼保・小中学校再編計画で「必要な計画を加える」としている。市長権限は大か。住民合意が前提、教育委員会の独立性を確認できるか。

**市長** 権限拡大ではない。住民合意前提で、教育委員会と市長部局との連携を密にし、切れ目のない施策を展開していく。

## 2016年12月議会特集

12月議会には、条例制定3件、条例改正6件、人事6件、補正予算10件、請願1件、意見書6件など31議案が提案されました。主な議案について各会派の態度は次の通り。臨時議会の副市長人事に関する態度も掲載。

各会派・無所属	提出	討論		可否	共産党		清風クラブ							市民クラブ・新しい風			公明党		無所属		議場の場計利													
		賛成	反対		安井直明	山岡光広	小西喜代次	服部治男	中西弥兵衛	辻重治	橋本恒典	田中実	森田久生	山中善治	林田久充	戎臨浩	土山定信	森嶋克己	田中新人	竹村貞男		片山修	竹若茂國	白坂萬里子	加藤和孝	田中將之	谷永兼二	鶴飼勲	小河文人	田中喜克				
平成28年度一般会計予算補正案	市長	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	市長	田中将之	小西喜代次	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
空き家の活用、適正管理等に関する条例	市長	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長の給与を10%減額する条例改正	市長	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願	市民	小西喜代次 竹若茂國	小河文人	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
TPPの国会批准撤回を求める意見書	安井直明	小西喜代次	なし	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2024年の滋賀国体のあり方とムダづかいの見直しを求める意見書	安井直明	山岡光広	なし	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
核兵器禁止条約の締結を求める意見書	小西喜代次	山岡光広	なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
自衛隊に「駆け付け警護」など新任務を付与せず、南スーダンからの撤退	小西喜代次	安井直明	なし	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
後期高齢者医療制度保険料の特例軽減措置の継続を求める意見書	山岡光広	安井直明	なし	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高速増殖炉もんじゅの廃炉を求める意見書	山岡光広	小西喜代次	なし	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆2016年11月10日の臨時議会																																		
副市長人事承認を求める議案	市長	小河文人	なし	否決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

市民団体から提出されていた「原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める請願」は、日本共産党と市民クラブ・新しい風が賛成討論、無所属の小河議員が反対討論にたち、採決の結果、賛成12、反対13で不採択となりました。

今回の意見書提案は日本共産党が提出した6件のみ。このうち「核兵器禁止条約の締結を求める意見書」は賛成多数で可決。残る5件の意見書の採決では反対討論なく、清風クラブと公明等が反対したため、否決されました。